



信州飯綱高原

いのちの大学構想 実現に向けて



水輪の会・いのちの大学設立委員会

〒380-0888

長野県長野市大字上ヶ屋 2471-2198

TEL 026-239-2630 FAX 026-239-2736

E mail suirin@suirin.com

URL <http://www.suirin.com>



- も く じ
- ひとしずくの愛から、無限の愛へ... 3
- 『いのちの大学構想』の実現に向けて... 4
- いのちの大学とは... 5
- 水輪の会概要... 6
- 水輪ナチュラルファームの概要... 7
- いのちの大学全体の構想... 8
- グリーンオアシスの概要... 10
- グリーンオアシス施設概要... 11
- いのちの大学構想への思い
- 推薦の言葉 - ... 12
- 水輪関連の書籍の紹介... 14
- いのちの大学構想を育んできた 30年... 15
- アクセスマップ・交通...裏表紙

ナチュラルファーム予定地から見た水輪・水織音

青空に身をまかせ、心を澄ませていると雪原の大地から

春の芽吹きを待つ 生命の躍動の音が聞こえてきます

ひとしずくの愛から、無限の愛へ

飯綱山の美しさは 25 年前と変わりありません。

音もなく降ってくる雪、眼下に広がる雲海、東の空から上がる太陽、ここ水輪に残った赤いナナカマドの実をついばみに、鳥たちが木々の間を飛び交っています。

私たちはこの静けさの中に息づいている、たくさんのいのち達を感じています。

脳損傷という重い障害をもつ娘のさおりは、このナナカマドの木々たちに見守られて育ってきました。さおりはこの 30 年間、たくさんの危機を乗り越えて、仲間や友人達に助けられて生きてくることができました。

私達が心のことや意識のこと、医療や科学、経済や文学、哲学や教育、そして食事のことや生活のこと、自然や環境、農業や森のことなど様々なことに目を向けてきたのは、さおりのいのちを守るためでもあり、さおりの存在の意味を知るためでもありました。同時に私達自身の苦しみや悲しみはどこからくるのだろうかということ为解决したかったからでもあります。すべてを手放した生活の中で、私達は確かに、何か大いなる存在によって歩まされてきたことを感じています。

信州の飯綱山に小さな庵を建てて 25 年余、自己を深めることを追求する中で「^{すいりん}水輪」というスペースができ、また「^{みおりね}水織音」という施設も運営することになりました。そのたびに大勢の方達の手助けを頂いてまいりました。

今回の計画は、これまで私たちが学ばされてきたことの集大成として「いのちの大学」構想を実現することです。人間が主人公となる道筋の開拓は、今時代のテーマと言ってもよいと思います。個々の苦勞や体験を通して学んだことをもっと社会に広げる公共化の必要を感じ、「いのちの大学」の立ち上げとなりました。

その第一歩として、この構想における 大地のいのちと調和した生産活動と生活空間の創造 を具体的実践していく水輪ナチュラルファームを、農地を取得することにより現実のものにしていくことと、心身の癒しと健康創造活動 の拠点としてのグリーンオアシスの建設を現実のものとしていくことを計画しております。

既に受け皿としての農業生産法人として株式会社水輪ナチュラルファーム（資本金 1,000 万円）と有限会社グリーンオアシス（資本金 4,000 万円）はそれぞれ 2003 年 12 月と 2005 年 8 月に法人として設立することができましたが、この構想を実体をもったものとして実現していくのはいよいよこれからです。

第一は内観療法、園芸療法、ケアリスナー（カウンセリング）社員研修を主として行う研修施設グリーンオアシスの建設です。（着工は 2005 年 10 月、竣工 2006 年 4 月予定）

第二には水輪ナチュラルファームの農地の取得を行います。

総額で 2 億円近い金額になりますのでたやすい計画とは言えませんが、ぜひとも皆様に応援をしていただきたく何卒よろしくお願い申し上げます。

応援の方法は幾つかございます。是非このパンフレットをお読み頂きご支援くださいますようお願い申し上げます。

私たちの進む道は険しくとも、その先には必ず光りが待っているように思えてなりません。この限りなく深いいのちの存在の意味が、次の世代に引き継がれていくことを心から願っています。



25 年前、さおりと飯綱山の麓で

2005 年 秋
水 輪 の 会
塩 澤 み どり
塩 澤 研 一
スタッフ一同

『いのちの大学構想』の実現に向けて

生活体験に根ざした生きた人間学発信の場
一人ひとりのいのちが輝き、いのちの本源に立ち返る喜びのために



朝の健康体操



スペースまほろば



中庭でのお食事



野外コンサート

私達のいのちは、全宇宙のいのちの大調和の中で生まれ、育まれ、生かされています。そして、私達一人ひとりのいのちには、すばらしい調和を生み出す智慧が備わっています。

ひとつとして無意味で、切り離された存在はなく、互いに密接につながりあい、生かしあい、いのちがよりよい調和に向かって営まれています。

現在、私たちが抱えている諸問題も、このいのちの根源をしっかりと感じ、理解し、愛していくことが、本質的な解決の核になると確信しております。

例えば、世界を巻き込んでいる新しい戦争も、「自分さえよければ、自分の国さえよければ」といのちのつながり・調和を無視しており、また、これまでの科学では、人間の物質としての肉体を生命として捉え、物質世界の因果関係だけをとりあげ、「心」や「いのちのつながり」といった事には関心が払われてきませんでした。

しかし今、医学の世界で、「心の働きが免疫機能に影響を及ぼす」として、ようやくいのちに向き合い始めたように、世界は分離から統合に向かい、融合と調和を生み出す流れが始まっています。それぞれは別々でも、すべては大宇宙のいとなみの中、ひとつならいのちとして存在しており、あなたも、わたしも、花も、風も月も星も、森も水も太陽もすべてがつながっています。

いのちの大学では、一人ひとりのいのちが輝き、同時に家族や社会のいのち、宇宙のいのちへと調和する道を模索、実行し、いのちの本源に立ち返るための学びを深めていきます。

このいのちの大学をとりまく環境として飯綱高原は縄

文以来の長い歴史と飯綱、戸隠、黒姫、妙高の山々を背後に控えた美しい自然があります。

戸隠は地層的には第4期でかつては海底、飯綱は第3期で標高7,000メートルの霊山であったと言われています。海と山が一体となった世界的にも珍しい聖地として知られています。

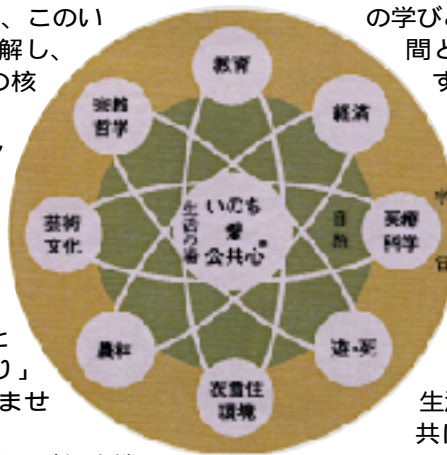
いのちの大学は人と自然、歴史と文化を背景に人々の学びと成長、癒しと気づきを深めていく空間として人類の意識の進化に貢献します。

知性と感性を共に磨く

今、ここ、自己のいのちを限りなく深め、活かすことで共にいのちの輝きを実感する

大宇宙や自然とのいのちのつながりに気づき、本来の人間性に目覚める

この目覚めを自己の在り方として生活の中に輝きを持って活かす
共に生き合う生活世界の実践と創造

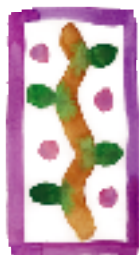


以上のようなテーマを通して「いのちの大学」(=知的創造生活空間) 構想を実現していく重要な一環として、「水輪ナチュラルファーム」計画と「グリーンオアシス」建設計画は始まりました。水輪の活動の集大成として「いのちの大学」構想は21世紀の人類に対して先駆的な働きをするものとして期待されています。

「公共心」人間一人ひとりが私利私欲から離れ、利他に生きるという本来の自己に目覚め、他者とともにその意識を共有していくこと。個を殺して公に仕えるという「滅私奉公」のような見方ではなく、個が私を活かして公を開くという見方を人類全体の意識として高め合っていくこと。

いのちの大学構想 いのちの大学とは

自己を深め、21世紀の課題に真向かう
学び・実践・生活化を行うコミュニティ大学



大スクリーンでビデオ学習



グループ研究会



水輪レストラン



養生塾合宿

人類の意識の進化に貢献

21世紀は、いのちの調和と、愛、公共心、そして感性を中心とした社会のあり方が求められている時代であると思います。環境、人口、エネルギーが大きな課題であると言われつつも、人類は今だその手だてを決めかねています。この問題は人類全体の意識の進化なくしてなし得ないことでもあります。

「いのちの大学構想」とはこの人類の意識の進化をテーマとして、経済、文化、医療、看護、介護、科学、教育、福祉、哲学、農林漁業、環境等あらゆる面から学びと実践と生活化を行うコミュニティ大学です。

国際非営利組織としての水輪の会は様々な学習活動と広報、出版、映像等をとおして啓蒙活動、そして学びと健康活動の創造をします。(有)グリーンオアシスは内観療法や園芸療法等のセラピー、ケアリスナーとしてのカウンセリングを始めとした療育、研修に加え介護や看護、福祉、医療の分野まで取り組みます。農業生産法人水輪ナチュラルファームは農業生産活動と園芸療法を総合的に取り組みながら、日々の生活化と環境保全の実践を行います。それぞれが連動した流れを形成していきます。

水輪の会

1993年に国際非営利組織として結成され、ホリスティックスペース水輪、水輪ゲストハウス水織音を運営しながら、経済、文化、哲学、科学等に関する学びの他、ホリスティック医療、代替医療の普及と啓蒙、学習を主に活動を展開しています。現在国内外に3500余名の会員・会友がいます。

農業生産法人(株)水輪ナチュラルファーム

2003年に農業生産法人として設立。資本金 1,000万円。無農薬、無化学肥料による安全で安心出来る農産物の生産、園芸療法によるセラピーの実施、農業公園化による自然環境保全などに取り組んでいきます。

農業生産による安全で安心な食材の自給をはじめ備蓄型循環農業を目指しています。

園芸療法は農業と福祉の統合による生活化をめざしており、様々な課題を抱えた人々との共同作業によるセラピーとして注目されはじめています。

この計画はいのちの大学が学びから実践、生活化に向かう重要な活動としても位置づけられています。

現在 100名の生産物のオーナーを募集しています。農地は農家が農業生産法人でないと取得できませんので、この方法でのご支援をお願いしています。オーナーは滞在型農業の実践を通して自然と親しみながら様々なセラピーを体験して頂けます。

(有)グリーンオアシス

2005年 8月に 15名の設立発起人により有限会社として設立。資本金 4,000万円。内観療法、ケアリスナー(カウンセリング)、企業研修等の研修とセラピーを中心とした事業を展開します。将来的には介護、ホスピス等の事業を行うことも目指しています。活動の進展によって社会福祉法人化も視野に入れての活動となります。研修施設グリーンオアシスは2005年秋から着工予定、2006年 4月竣工予定。現在建設費の割が確保されていますが、残りの 3割についてご出資のご協力を仰いでいます。

いのちの大学構想
国際非営利組織水輪の会の概要
心を高める人生を共にひらき、生きる



水輪の庭を彩るモミジ

「いのちの大学」(運営母体・国際非営利組織水輪の会)で行われる主たる活動と目的

- 1教育・学習・研究活動——いのちの視点に立った公共哲学・感性論哲学、文学、経済(企業研修・人材育成)教育、歴史、物理学(量子力学)、医学、科学などの各種セミナー、ワークショップ、講演、実習講座、自然環境など環境をテーマにした学習を通して知性を磨き、自己を深め、いのちの調和に貢献します。
- 2文化芸術活動——音楽、絵画、陶芸、和紙、木工、染色、映像等の創作活動、講座、公演、個展、実習等を通して感性が磨かれることを目指します。
- 3健康創造活動——医療講座、代替医療の実習と学習(ホメオパシー、アロマテラピー、リフレクソロジー、フラワーエッセンス、)気功、療養、食養、リハビリテーション、ヒーリングプラン、養生塾の開催等により心身の健康、及び自己の深化といのちの調和に貢献します。
- 4福祉教育活動——保育活動、青少年育成ワーキングスタディー、ターミナルケア、ケアリスナー(カウンセリング)いのちの学校等の活動とおして生から死までの生活空間の創造を行います。
- 5情報の発信——新聞を発行し、いのちの大学/水輪ナチュラルファーム/グリーンオアシス/水輪の会の活動報告、お知らせ、理念の発信を行います。また、出版や映像等を通していのちの調和と意識の進化に貢献します。
- 6会員相互の交流——会員主催の講座の開催、交流会の開催により人と人の調和をはかります。
- 7国際交流・研修——広く国内外に呼びかけ様々な分野において共にいのちの視点に立って学びを深めることを通して、異文化への理解、世界の平和、地球の調和に貢献します。
- 8調査・研究活動——いのちの調和、人類の意識の進化に関する調査、研究、公共哲学・感性論哲学などの研究と報告書の作成等により、将来世代に継承される知的遺産を残します。



木々はまっすぐに空に向かい
葉っぱは陽の光を浴び
そのすべてを開いた
光や風 鳥や虫に運ばれた一粒の種は
大地に根をはり ぐんぐん水を吸い上げ
大樹となって 花を咲かせた

いのちの大学構想

水輪ナチュラルファームの概要

大地での体験と実践を通して知性と感性を磨き
一人ひとりのいのちの輝きが生活の中で活かされるために



水輪ナチュラルファーム予定地のそば畑

「水輪ナチュラルファーム」(運営母体・農業生産法人)で行われる活動

1共にいのちを育てる ----- 自然農法による生産活動

山に残された遊休農地を活用し自然農法による高原野菜、山菜、園芸、花卉、ハーブ、薬草、果樹等を栽培。大自然と調和した安全でエネルギーの高い農作物の販売や加工、自然食の提供等を行います。
これらの活動を通して自然環境・生活環境の保全、日本における一次産業の再生に貢献します。また、知性と感性が磨かれ、心身の健康といのちの調和に寄与します。種まき祭、植樹祭、収穫祭、野沢菜漬け祭などのイベントを行います。

2共にいのちの恵みをいただく ----- 農業公園

畑の公園化による自然の森の散策、休憩空間の運営等。車椅子などの使用が可能な歩道。自然環境保全と里山文化の伝承を行います。
自然のいのちと触れる機会として広く市民に開放し心身の健康といのちの調和に貢献します。野外教室、野外料理・食事などの野外活動スペース、休憩空間や高齢者、障害をもつ人々も安心して散策できる遊歩道を取り入れます。

3共に大地のいのちから癒される ----- 園芸療法

高齢者、障害者、心のケアを必要とされる人々のためのセラピーを行い、人類の福祉に貢献します。(水輪いのちの大学の活動と連動しています)園芸療法の講座、講演、研究会、ワークショップ、森林セラピー、いのちの祭り、こけ玉教室など心身の癒しを提供します。

4共に大地から学ぶ ----- 宿泊研修事業

農業体験、農業実習、農法の研究会(気候風土に合った栽培法など)・講座、園芸療法の研究・講座。人間のいのちを中心とした各講座、宿泊研修を開催。
豊かな自然環境に囲まれての健康自然食付きの宿泊研修で大地・自然からのエネルギーを感じながら知性と感性を磨き、学び合える場を提供します。

水輪ナチュラルファームは「いのちの大学構想」の一環として、いのちと調和した農業の実践を通じ、国内の農林業の活性化に貢献し、地球環境と里山文化の保全と伝承、食文化の再生と啓蒙、園芸療法による大地のいのちからの癒しなどに取り組んでまいります。

農業生産法人＝農業およびその付帯事業を専業とする法人で、農地の所有権や、賃貸権が認められる法人。

やがて豊かな実からこぼれ落ちたいのちたちは
花を咲かせ 実を結び ふたたび潤いをもたらした
大自然の営みは 私達に 共に生き 生かされ合う
いのちの繋がりのすばらしさを 教えてくれた



いのちの大学 全体の構想

農園の対象となるのは、水輪の東隣、飯綱山中腹のなだらかな傾斜地。手前が南で、標高は1100m、画面奥が小さい。現在は14000坪の遊休農地。農園は、今ある木々や固有の植生には極力手を加えず、公園化された自然農園をイメージしています。いのちの大学の校舎に相当するものは、水輪、水織音に続いてその南に、心をリラックスさせながら園芸療法や園芸工房、講義・セミナー・宿泊のできる施設などを展開していく計画です。

いのち輝く夢を

畑は畝(うね)があったり、なかったり。
一見ただの草地が畑だったりする。
野菜、ハーブ、そば、山菜などを栽培。
(色々!)



水輪ゲストルーム



コンサート



水織音レストラン



冬の飯綱山

共に実現するために

中 飯綱山がすぐそばに。

土地の傾斜を利用して、半地下の温室。
店舗も兼ねる。冬場は厳しいので苗はここで。
屋上は土を敷いてクローバーを植えるとか。
葡萄棚(?)の下で演奏したり、講演会、ワークショップ等。
月を見るのもいい。自然の音に包まれて。

垣根はアジサイセツツンで。
花の季節は楽しみになる。

駐車場

所々ベンチ等も設け、
瞑想の場に。自然と対峙する。
心地良い空間。

農具を置く小屋

休憩できる場所。
葡萄棚とか山葡萄棚の下に
ベンチ。夏はいい日陰になる。

小川も作りたい。できれば。
いかに水は切り替えせません。



茶室



禅瞑想



ワーキングスタディー



自然食料理

いのちの大学構想

グリーンオアシスの概要

癒しと気づき芸術活動の空間



園芸療法による
グリーンアート



セラピールーム

有限会社グリーンオアシスは主に「内観療法」「園芸療法」「芸術療法」「食事療法」「カウンセリング」「ワーキングスタディー」「ボディーセラピー」など心身に悩みを抱えている人たちの為の療法や病からの療養、癒しや意識の深化を目的とした活動を行います。

いのちの大学構想の中の「健康創造活動」と「福祉教育活動」を中心にした活動に加え、企業や個人の意識の進化を目指した企業研修、農業園芸体験、森林ワーク、陶芸・絵画・木彫等の文化芸術活動など様々な実践体験を併せた研修が行われる計画です。

（目的）（定款より抜粋）

第2条 当会社は、次の事業を営むことを目的とする。

1ケアリスナー事業

- イ 心身に悩みを抱える人々のカウンセリング、社会復帰支援
- ロ 作業療法（作業療法をとおしての生活指導、社会復帰支援）
- ハ 長期・短期滞在（上記対象者の滞在に関する宿泊・給食の提供）

2内観研修事業

- イ 内観法による心理療法、教育、矯正
- ロ 宿泊・給食（受講者及び講師、スタッフの宿泊、給食の提供）
- ハ 内観療法の研究会、講座、講演会等の開催。

3園芸療法事業

- イ 高齢者、障害者、心のケアを必要とされる人々を対象とした園芸療法
- ロ 上記対象者のカウンセリング、農作業、生活指導等
- ハ 宿泊・給食（上記対象者、講師、スタッフ等の宿泊、給食の提供）
- ニ 園芸療法の研究会、講座、講演会等の開催。

4ボディーセラピー事業

身体の癒しや健康増進等を目的としたマッサージ、リフレクソロジー、アロマテラピーなどのセラピー

5カウンセリング、内観、園芸の各療法以外の療法の研究・導入・実践

6学習・研修事業 個人や団体、企業に対する社会・文化・経済・経営・労働・科学・哲学等の学習と研修

7園芸療法、作業療法等による生産物（農産物、園芸品、陶器、木工品などの工芸品等）の販売

8飲食店の経営 9民宿の経営 10広告、宣伝、出版事業 11その他前各号に付帯する一切の事業

会社理念

「心と身体といのちの健康」と「心を高める人生を共にひらき、生きる」

内観療法、園芸療法、カウンセリング、ボディーセラピー、ケアリスナー活動等をとおして、精神的、身体的な悩みや人生でのつまずきなどにより社会的に不利益を被っている人々の社会的な自立や社会復帰を支援し、もって地球社会の平和と調和、融合と繁栄に貢献します。



いのちの大学構想

グリーンオアシス施設概要

全面ガラスから入り込む森の息吹



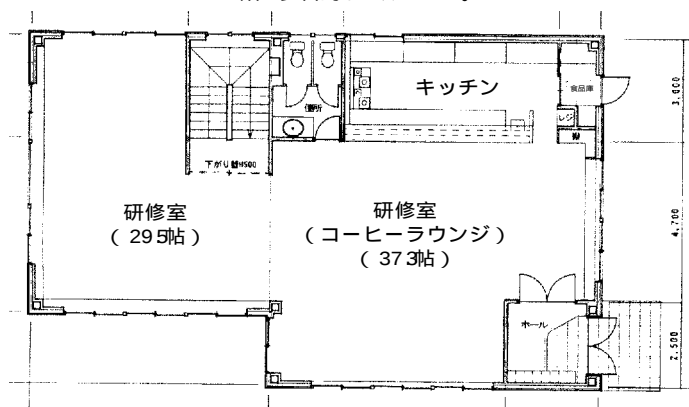
森林浴セラピー

1 階「森と集いの空間」 芸術療法・講演会などの様々な集いや最大 100名規模の食事が可能な多目的ホール。ゆったりと森の中にいるような雰囲気演出する全面ガラス張り。通常はギャラリーやコーヒーラウンジとして使用の予定。

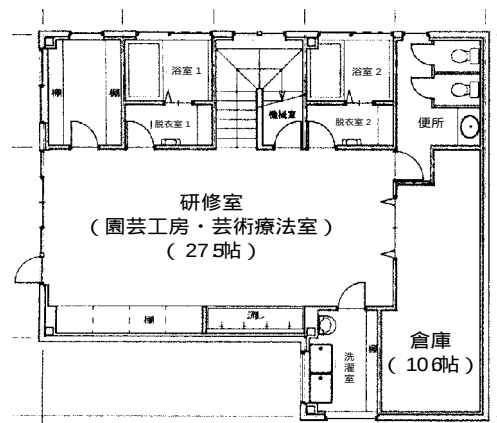
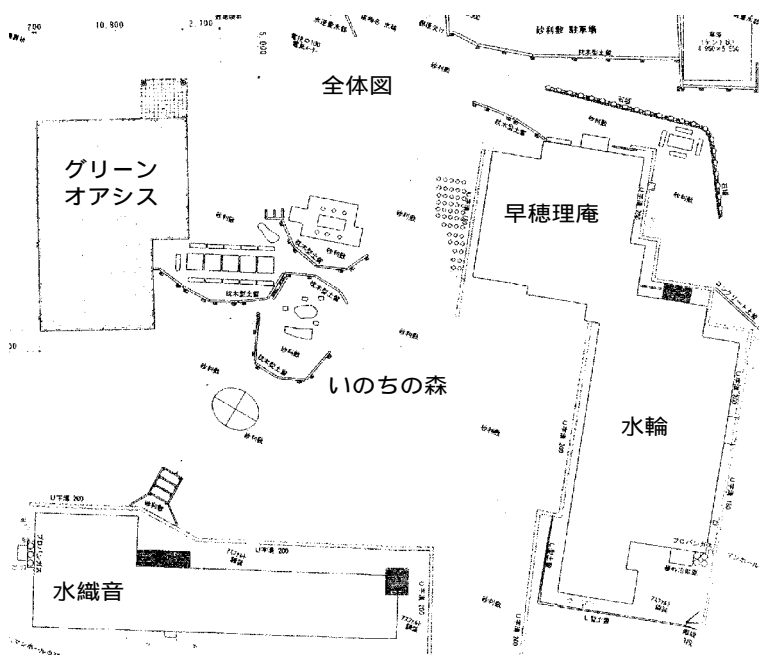
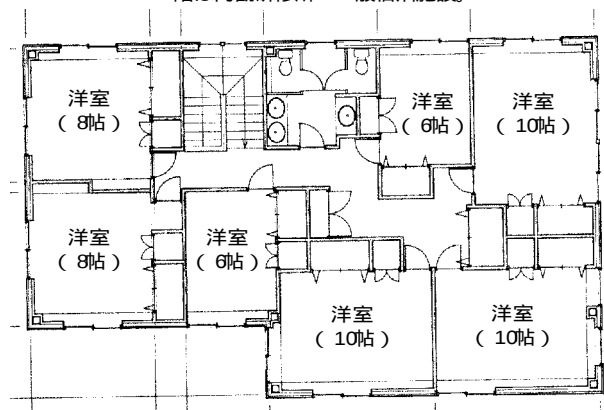
2 階「心と休息の空間」 内観研修所としての機能を備えた宿泊棟。合計 7つの部屋は、より多くのスタッフ、ワーキングスタディー実習生、ヒーリングステイ・養生ステイの滞在者を受け入れることができる。また、水輪、水織音をフルに活用することで、最大 50名規模の宿泊が可能となる。

地下「創造と癒しの空間」園芸工房、アートセラピー、ボディーセラピーの空間として水回り、入浴施設を備えている。

1階は多目的ホールとして。



2階は内観研修所・一般宿泊施設。



地下は園芸工房・アートセラピー・ボディーセラピールームとして入浴設備・倉庫・洗濯場を備えている。

いのちの大学構想への思い

|| | 推薦のことば || |

稲盛 和夫 氏 || 京セラ株式会社名誉会長・KDD 最高顧問・稲盛財団理事長・盛和塾塾長 ||



私は、人生の目的は「心を高めること、魂を磨くこと」だと説いています。つまり、俗世間に生き、様々な苦楽を味わい、幸不幸の波に洗われながらも、やがて息絶えるその日まで、一生懸命生きていく。このプロセスを磨き粉として、おのれの人間性を高め、精神を修養し、この世にやってきたときよりも高い次元の魂を持ってこの世を去っていくということが人生の目的だと思っています。

政治・経済・教育などのあらゆる現場で、ますます混迷を深める現代日本において、塩沢さんたちが構想しているこのいのちの大学は、この人生の目的にしっかり根ざしているものです。素晴らしい飯綱の大自然の中で、自己を見つめ、魂を磨き、世のため、人のために自己を成長させ、いのちを輝かせる場所になることを、期待しております。頑張ってください。

帯津 良一 氏 || 医学博士・帯津三敬病院名誉院長・日本ホリスティック医学協会会長・日本ホメオパシー医学会理事長 ||



いのちの大学への期待 『戦後が若かった頃』(海老坂武著。岩波書店)という本をご存知でしょうか。著者はご自身の青春を重ね合わせて、この時代を実に生きいきと描き切っています。本当にいい時代でした。まだ十分とはいえませんが、物資は明らかに窮乏の状態からは脱しはじめていました。人々の心には希望があり、街には清新の気が満ちていました。いつも空が青かったような気がします。ところが今はどうでしょう。イラクだけではありません。紛争は毎日、世界の各地で起こっています。血腥い事件は、これまた毎日のように報じられています。そのほか政治、経済、教育、医療などすべての分野で混迷の度は増すばかりです。例外というものがありません。

これは、もう地球という“場”のポテンシャルエネルギーが低下しているとしか言いようがありません。さらに、この低下を回復すべく、その“場”に本来備わっている自然治癒力のはたらきも落ちてきているのではないのでしょうか。生命場のポテンシャル、エネルギーが生命、何らかの理由でそのエネルギーが低下したとき、これを回復すべく、生命場に備わったエネルギーを・自然治癒力・と呼んでいるのではないのでしょうか。

生命といい自然治癒力といい、これらは人間だけの独占物ではありません。空間が、そして場が存在するところ、すべて生命と自然治癒力が存在するのです。そして、場は階層を形成し、上の場はしたの場を超えて含むという関係にあります。つまり、地球の場の回復をはかるためには、まずは自分の生命場を高め、家庭の場、地域社会の場、と順次高めていかなくてはなりません。

戦後が若かった頃の、あの美しい地球を取り戻せるかどうか、その成否は内なる生命場を見つめ、虚空の場に思いを馳せながら生きる人を一人でも多く輩出できるかどうかにかかっています。このような時に、いのちの大学の設立はまことに時宜を得たもので、勇気百倍、大いに期待しております。山紫水明の飯綱の地が、やがて来る・いのち・の時代的一大拠点となる日を夢見て。

巽 信夫 氏 || 医学博士・信州大学医学部精神医学教室助教授・日本内観学会常任理事・日本内観医学会理事・日本トランスパーソナル心理学 / 精神医学会理事・日本欧州共通サイコセラピー資格認定 ||



森田、内観両療法に学びつつ、精神医療に携わり 40 年近くになる。この間、思春期、青年期、壮年期 - 老年期といった各ライフステージにおいて、心を患う様々な方と関わってきた。この関わりを通じ傷害や病気にはそれなりの意味があり、とりわけ人間が生きているということと深く通じていること、及び当人をとりまく時代的、社会的状況とも不可分であることを学ばされてきている。とりわけ昨今のモノ的文明の飛躍的發展に伴う人間疎外の深刻さは、老若男女を問わず加速化し、まさに時代の光と影を物語っているとも言えよう。それだけに技術革新や情報化社会の恩恵に浴しつつも、人間がその主人公となる道筋の開拓こそは、最大の今日的テーマといっても過言であるまい。このような状況下、すでに水輪にあっては、いのちの本源に立ち返り、人間再生にむけての本格的な取り組みを実践され、地道ながらも着実にその活動の輪を広げてこられた。

このたびの「いのちの大学」構想は、この貴重な学びの足跡を母壤に、次なるステップとして自ずと展開されてきたようである。まさに、2 世紀が真に求める画期的なコミュニティー大学モデルの提示ともいえ、生活体験に根ざした生きた人間学発信の場として、今後の活躍を心から願うものである。



芳村 思風 氏 || 哲学者「感性論哲学」創始者・米国イオンド大学哲学名誉博士・名城大学講師 ||

「いのちの大学」構想は、理性中心の西洋的近代文明を、生き生きといのちを輝かして人生を生きる力を回復し、いのちのつながりと心のつながりを中心とした、新しいアジアの時代の文明へと移行させる人類史的使命をおびた壮大な先駆的決断です。我々は人類の未来の為に、この夢を共有し、この夢を実現する為の行動を、いま直ぐにも起こさねばなりません。その時が来ていると思います。



細川 佳代子 氏 ||| 特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本理事長・「世界の子どもにワクチンを」日本委員会代表 |||



「障害を持つ人々が幸せな社会は全ての人々にとっても幸せな社会である」

私はスペシャルオリンピックスに関わる中でこのことを強く感じてまいりました。そしてこの人たちが学ぶ事の大きさにも驚いています。スペシャルオリンピックス世界大会を成功裏に長野の地で開催できましたことは大きな喜びではありましたが、これはまた日本に福祉の心が根付いていく出発の時でもあります。

時を同じくしてこの長野の地において「いのちの大学構想」が実現に向けてスタートしたことに、心から応援したいと思います。この「いのちの大学構想」が重い障害を持つ娘さんとの30年にわたる生活の中から生まれて来たことは「いのちと愛」を中心とした地域社会の創造と人々の心の成長を促すものと大いに期待しています。

本田 健 氏 || 作家・アメリカ在住 ||

水輪を応援しています!! 多くの人が人生に迷い、元気をなくしている今日、水輪のような場所は、いつでも帰っていける安らぎの場、少し大げさな言葉を使うと、聖地のようなところだと思います。日本では、そういう場所は、ごく限られています。それは、その場所がリゾート施設のようになるか、宗教団体になるかどうかだからです。そういう点で、水輪は、日本でも、非常に特殊な独立性と、行き届いた環境を持っていると思います。

私は、水輪という場所が大好きです。水輪に行けば、そこには、おいしい空気と食事、そして、やさしい笑顔があります。以前住んでいた長野市内の自宅からは、ほんの20分で水輪に行けました。家族でふらっと立ち寄って晩ご飯をいただいたり、新しい原稿のゲラを持ち込んで、静かに構想を練ったりしました。

「きっと、よくなる!」をはじめ、140万部を超える著作シリーズの一部は、水輪で原稿を練り、書きました。癒しのスペースであると同時に、インスピレーションが光の滝のように降り注ぐ、すばらしい環境のおかげです。いつも、さりげなく見守って創作活動に専念させていただいた塩沢さんご夫妻をはじめ、スタッフのみなさんには心から感謝しています。そんな素敵な水輪から生まれた「いのちの大学」を心から応援しています。

神渡 良平 氏 ||| 作家、日本内観学会会員 |||

木下から木下を伝い、樹林を巡って思索に耽るとき、人は本来の自分を取り戻し、人生への主体性が立つものです。ここ飯綱高原の水輪には、ネイティブ・アメリカンが水晶のストーン・サークルを設置したように自分の心を静かに観つめることができる静けさがあります。またここ水輪には日本武尊が望郷の念を抱いて、「やまとは国のまほろば たたなずく青垣 山隠れる やまとしうるわし」と詠んだ安らぎがあります。さあ、ここ水輪に、みんなで力を合わせて、いのちの大学構想を実現しようではありませんか。



高月 紘 氏 ||| 工学博士・京都大学名誉教授・元京都大学環境保全センター長 |||



私の教え子の一人が「いのちの大学」の設立に努力されていると知り、一言励ましの言葉をかけたと思います。彼とは環境教育の分野で、ワークショップ等で一緒に活動した仲ですが、学生時代から自分自身の生き方について、色々と実践を通じて模索する今どき珍しい青年と関心をもっておりましたが、大学卒業後、「長野で農を中心とした生活をする」と聞き、彼らしい選択だと感心したものでした。その彼が「いのちの大学」でとりわけ「ナチュラルファーム」をつくるという点で大いに期待したいと思います。

今、私たちはグローバル化の下で利便さ(スピード)と安さのみが価値があるかのようなライフスタイルを強いられています。その結果、食の安全や心の安らぎを失いつつあります。そんな中で、農を中心としたスローライフを取りもどす研修の場としてのナチュラルファームは持続可能な社会への一つのモデル事業として大いに価値があると思います。人間、やはり、自然と共生し、自然のリズムで生活することが一番だと思います。大いにがんばって下さい。



スーザン・オズボーン 氏 ||| 米国歌手・ボイストレーナー・長野オリンピック パラリンピックに出演 |||



長野市から高い山の中に入っていくと、そこには近代生活の喧騒や忙しさから離れた隠れ家があります。この場所は、人間と全自然との平和的な協力で根ざした日々の愛と一生懸命の労働を通して創られてきました。その過程のそれぞれの段階は慎重にゆっくりと進められ、やがて成長し全ての人々が学ぶ場所へと進化しました。

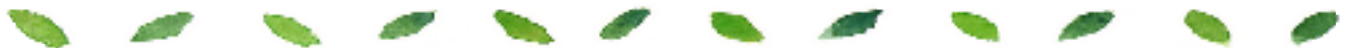
私たちがもし種として生き残るのならば、この地球でいかにやさしく生きるかを思い出さねばなりません。この知恵は、自然に近い場所に住む小さなグループで共同体として暮らす人々が心の内側と外の世界につながるにより時を経て育まれ、そして受け継がれてきました。これは簡単な作業でも早くできる作業でもありませんが、人生の壊れた網の目のようなつながりを編み合わせる生き方のことです。ひとつの糸がお互いにケアをし、愛し、耳を傾け、注意を向け合うこと、そして自然の知恵を同時に必要としています。

水輪は、まさにそのような場所に進化をしてきました。水輪を訪れて日常生活や学びに参加する人は誰もが進化の一部です。私自身もここ数年、水輪の共同体としての生活にわずかながらも参加し、またその成長を実際に目にし、とてもうれしく思っています。世界には、地球上での生活の健康に意識を向けたすばらしい共同体の輪がいたる所にあります。水輪はこの壮大な車輪の一部であり、後に続く子供たちのために道を創ってくれています。

ここで、私が数年前に水輪で初めて体験した出来事の中から一つご紹介したいと思います。8月の照りつけるような暑い夏のことでした。30人ほどが広間に集まり、さあ歌おうという瞬間でした。その日の午後は、静寂に包まれていました。私たちは、一斉に息を吸い、最初の音を吐き出そうとしたまさにその時、緑の葉が生い茂る木に止まっていた蝉と一緒に歌いだしたのです。長い間、私たち人間と蝉は皆一緒に歌い、方向もわからず、ただ呼吸と音の流れに身を任せていました。ある瞬間私たち全員が止まり、蝉と人間は深い沈黙に入りました。

水輪でのこのような自然との壮大な共同の瞬間を私は決して忘れません。そして「いのちの大学」でもっと多くの体験を心待ちにしています。(翻訳 青木由美)

(推薦の言葉順不同)

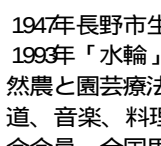


塩沢 みどりプロフィール ||| 「水輪の会」代表理事・(有)グリーンオアシス代表取締役 |||



出生時に脳に傷を受けた娘との生活の中で、様々な心の葛藤を体験。禅を中心に、東洋哲学を探究。心を徹底的に見つめ続けることによって、どんな悩みも苦しみも結局は自分が作りだしているに過ぎないことに気づく。さらに、より多くの人たちと輝いて生きあうことを願って、人間性の向上と自己の学びを求める人々の集まり「水輪の会」設立(1992年) スペース「水輪」を開設(93年) 98年「水織音」を増設。また、同年長野冬季オリンピック・パラリンピックへのスーザン・オズボーンの出演のため、オリンピック委員会との交渉を中心的に進め、実現。同年秋、京セラ名誉会長稲盛和夫氏の経営塾「盛和塾長野」を立ち上げ、代表世話人を務める。戸隠五社奉納演奏を15年間プロデュースする。文化、芸術、医療、福祉、教育、科学、経済等に関する様々なセミナーやワークショップ等を企画・開催。心理・教育カウンセラー、ケアリスナー、盛和塾長野代表世話人、日本ホリスティック医学協会専門会員。

塩沢 研一プロフィール ||| (株)水輪ナチュラルファーム代表取締役・「水輪の会」専務理事 |||



1947年長野市生まれ。長野高校・明治大学工学部工業化学科卒。私立学校、社会福祉施設等の職員を経て1993年「水輪」を設立。また、20年にわたり中高生の進学指導など教育と福祉の活動に関わる。2003年自然農と園芸療法を柱とした「(株)水輪ナチュラルファーム」を設立、「いのちの大学構想」に参加。茶道、武道、音楽、料理に親しみ、水輪の自然食は大きな評価を頂いている。長野都市経営研究所会員、倫理法人会会員、全国思風塾世話人、日本内観学会会員。



● 水輪関連の書籍の紹介



『早穂理。ひとしずくの愛』
塩沢みどり監修 中川奈美著
原書房 1998

● 黒木瞳さん絶賛：久しぶりにすばらしい本と出会いました。この本の重量感はどうな言葉をもってしてもかなわないでしょう。だって、真実って、宇宙に星が実在するように、心に愛が生まれるようにとても確かなものですし、ほんものなのですから。日々、母親になってみなければ分からないことがたくさんあります。子どもに教えら

れることもたくさんあります。『ひとしずくの愛』を読んでよかったと心から思いました。この本が私に教えてくれたこと、それは、けっして後悔しないこと。私も娘とともに強く生きたい、と思いました。(1998年9月4日毎日新聞全国版より)



『ナナカマドの咲く頃。』
塩沢みどり監修 中川奈美著
原書房 2001

● 続・早穂理。ひとしずくの愛 長野・飯綱高原から愛、ふたたび……重度の脳障害をもつ娘とその家族の苦悩と癒しの物語。歩くことも話すこともできない娘。何度も死との境界をさまよい、絶望の淵に立たされながらも持てるすべてを与えてきた母そして父。三人の間に育ま

れた愛は、やがて多くの人々を癒す愛へと成長してゆく…紛れもない真実の愛を描くヒューマンドキュメント。(2001年9月 日読売新聞 / 2001年9月12日信濃毎日新聞より)

いのちの大学構想を育んできた 30年 ーひとりのいのちから無限の愛へー



1975年 4月 3日早穂理（さおり）誕生。カンシ分娩による頭蓋内出血。脳に損傷を受ける。



1975年 7月。生後 3ヶ月。長野に帰省。乳もあまり飲まず、母みどり不安な日々を送る。



1977年。リハビリ（重度心身障害児通園施設愛の木園）に通いながら、福祉の活動団体を立ち上げる。



1978年。医療、教育、福祉、ボランティア活動などを多彩に展開する。



1978年。多くの市民・文化人の協力を得て、市民チャリティーバザーと福祉コンサートを企画。4回開催される。



1980年。心の苦しみを乗り越えようとする日も、雪の日も朝 3時に起きる 10年間の参禅。



1981年。早穂理庵を建て飯綱高原に住まいを移す。薪を切り、自然の中で心を見つめる生活。



1982年頃。土を開墾し、無農薬の野菜をつくり自給自足の日々の中で心は満たされていった。



1983年。様々な学びの会が開かれ、多くの人が訪れ、芸術・哲学を深める。



1993年。10年の歳月が流れ、多くの方の賛同と協力を得て、水輪が建設され、人の輪が広がる



1996年。何回も入退院を繰り返し生死をさまよう。これを機にホリスティックな医療・死生観を深める。



1998年。1年のブランクを経て水輪を再開。同年、水織音が建設され、いのちの大学構想に向けて夢を語る。



1998年。スーザン・オズボーンのボイスセミナー開催を縁に、長野オリンピック・パラリンピックで熱唱し真心の歌を世界に発信。



2000年。様々な悩みや課題を抱えている若者達が、スタッフ・実習生として参加。早穂理の介護からいのちの大学の原点を学ぶ。



2005年。アントロポゾフィー国際医学セミナー開催される。心と体といのちをつなぐ医療を学ぶためドクターが世界中から集まる。



2005年。スタッフ、実習生徐々に増加。教育・福祉・環境・農・食などいのちの大学についても色々なアイデアがでる。

● 水輪関連の書籍の紹介



『人は人によって輝く』

尽天地編著 致知出版社 2001

● 人は人の間に育つだけでは十分ではないのだ。人が人として生育していくためにはもっと大事な何かがいる。それは何か。5人の真人たちが、その人生を通して訴えるメッセージ。～塩沢みどり氏の生き方、これまた只ため息をつくばかりである。「最重度障害という娘を産んだことが、私たち夫婦にとってはものすごい貴重なプレゼントだった…」とは、何というおどろくべき言葉であろう。人間個々の命が、いかに貴重なものかを改めて考えさせられるのは、私一人ではあるまい。「娘の身体を見ると、彼女が生きよう、生きよう、としていることがわかった」人間の尊厳は正にここにあると思う。いかに障害があっても、私たちは徹底して尊ばねばならないことを教えられるのではないか。～（三浦光世氏 まえがきより）



『現代人の伝記』

致知出版社 2004

● 『致知』の記事の中から、中学生、高校生にふさわしいものを選びすぐって収録！全国の中学・高校・専門学校・塾で採用続々！『現代人の伝記』の授業を受けた生徒達の感想！「この授業を受けて国語が好きになったし、読書が好きになった。何よりもこれからの人生を歩いていくのに大切なことを知ることができた。知っているだけでは駄目なのでしっかり実行していきたい。中学3年・男子生徒」（人間学誌『致知』より）



みどりの葉先に光る朝つゆの玉
 赤や黄色に変わる木の葉の不思議
 水面にきらめく太陽の光
 深い森に羽ばたく朝のしずけさ
 雪原にこぼれた赤い実
 月の光に花ひらく月見草の音など
 自然は神秘に満ちています
 いのちの・・・ひとときを……

アクセス マップ



交通

- タクシー・車で / 長野市内から戸隠バードラインで大座法師池まで約 25分。いづなりリゾートラインに右折、スキー場方面に。ホテル・アルカディア前を右折、約 1分。
 - バスで / JR長野駅より「バードライン経由戸隠行き」(川中島バス)で約 30分。飯綱高原スキー場または飯綱高原(大座法師池)下車。徒歩 10~ 20分。または、バス停からタクシーで 5分。徒歩 20分。
- 「県道経由戸隠行き」と間違えないよう注意して下さい
 バスの時刻は季節によって変わります。ご確認ください。

